



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : ティッシュ・テック O.C.T.コンパウンド
製品コード : 45833 (3 本)
4583 (12 本)
供給者の会社名称 : サクラファインテックジャパン株式会社
住所 : 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-31-1 浜町センタービル
担当部門 : 開発企画部
電話番号 / FAX 番号 : 03-5643-2629 フリーダイヤル:0120-392-874 / 03-5643-3382
緊急連絡電話番号 : 03-5643-2629
e-mail : general@sakura-finetek.com
推奨用途 : 凍結組織切片作製用包埋剤
使用上の制限 : 推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

GHS 分類基準に該当しない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル : なし
注意喚起語 : なし
危険有害性情報 : なし

注意書き

安全対策 : [P201] 使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。
[P264] 取扱い後はよく手を洗うこと。
[P280] 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置 : [P312] 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
保管 : [P403] 換気の良い場所で保管すること。
廃棄 : [P501] 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名または一般名	化学式	濃度又は濃度範囲 (w/w%)	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
ポリビニルアルコール	$(\text{CH}_2\text{CH}(\text{OH}))_n$	10.24	(6)-682	既存	9002-89-5
ポリエチレングリコール	$\text{H}(\text{CH}_2\text{CH}_2\text{O})_n\text{OH}$	4.26	(7)-129	既存	25322-68-3
不活性物質(注1)	非開示	85.5	既存	既存	非開示

(注1) 不活性物質の主要成分: 水

4. 応急措置

吸入した場合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合 : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。

急性症状及び遅延性症状 の最も重要な徴候症状	: 飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。 【3章に挙げる各成分において】 データなし
応急措置をする者の保護 に必要な注意事項	: 救助者は8章の保護具の欄を参照し、適切な保護具を使用すること。 【3章に挙げる各成分において】 データなし
医師に対する特別な注意 事項	: 本SDS、製品容器やラベルを見せること。 【3章に挙げる各成分において】 データなし

5. 火災時の措置

適切な消火剤	: 周辺火災に応じて適切な消火剤を用いる。 粉じんが発生している時は乾燥砂を用いる。
使ってはならない消火剤	: データなし
火災時の特有の危険有害 性	: 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を 避ける。
特有の消火方法	: 消火作業は、風上から行う。 周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。 関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別 な保護具及び予防措置	: 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置	: 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。 多量の場合、人を安全な場所に退避させる。 必要に応じた換気を確保する。
環境に対する注意事項	: 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
封じ込め及び浄化の方法 及び機材	: 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などで よく拭き取る。大量の水で洗い流す。 多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。
二次災害の防止策	: 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。 漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	: 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱注意事項	: 使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。
接触回避	: 『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策	: 【3章に挙げる各成分において】 データなし

保管

安全な保管条件	: 『10. 安定性及び反応性』を参照。 換気の良い場所で保管すること。
安全な容器包装材料	: 【3章に挙げる各成分において】 ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. ばく露防止及び保護措置

職業ばく露限界

本製品の原料に要求される管理濃度、許容濃度はない。

濃度基準値(厚生労働大臣が定める濃度の基準)

本製品の原料に要求される八時間濃度基準値、短時間濃度基準値はない。

ばく露防止

設備対策 : 蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な呼吸用保護具を選択し、着用すること。
手の保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護手袋を選択し、着用すること。
眼及びまたは顔面の保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な眼および顔面の保護具を選択し、着用すること。
皮膚及び身体保護具 : リスクアセスメント等の結果に応じて、適正な保護衣、履物を選択し、着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 液体
色 : 無色～淡黄色
臭い : 軽いアルコール臭
融点/凝固点 : $-5 \sim -15^{\circ}\text{C}$
沸点又は初留点 : データなし
および沸点範囲
可燃性 : 不燃性である
爆発下限及び爆発上限 : データなし
界/可燃限界
引火点 : データなし
自然発火点 : データなし
分解温度 : データなし
pH : 5.0 - 6.5
動粘性率 : 2000 - 4000 mm²/s
溶解度 : 水: 可溶
溶媒: データなし
n-オクタノール/水分分配係数(log 値) : データなし
蒸気圧 : データなし
密度及び/又は相対密度 : データなし
相対ガス密度 : データなし
粒子特性 : 非該当
その他のデータ : 流動点: $-6 \sim -9^{\circ}\text{C}$

10. 安定性及び反応性

反応性 : データなし
化学的安定性 : 通常の保管条件/取り扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性 : データなし
避けるべき条件 : 高温を避けること。
混触危険物質 : 強酸化性物質

危険有害な分解生成物 : 炭素酸化物(火災時)

11. 有害性情報

急性毒性 : 急性毒性(経口)
 【ポリビニルアルコールとして】
 ラットLD50値は>2000 mg/kgのため区分に該当しないとした。
 【ポリエチレングリコールとして】
 ラットLD50値は51.2 g/kgのため区分に該当しないとした。
 【不活性物質として】
 データなし

急性毒性(経皮)
 【ポリビニルアルコールとして】
 ラットLD50値は>2000 mg/kgのため区分に該当しないとした。
 【ポリエチレングリコールとして】
 ラットLD50値は>2000 mg/kgのため区分に該当しないとした。
 【不活性物質として】
 データなし

急性毒性(吸入: 気体)
 【3章に挙げる各成分において】
 データなし

急性毒性(吸入: 蒸気)
 【3章に挙げる各成分において】
 データなし

急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト)
 【3章に挙げる各成分において】
 データなし

皮膚腐食性/刺激性 : 【ポリビニルアルコールとして】
 ウサギの皮膚に対してわずかな刺激性が認められたが、区分に該当しないとした。
 【ポリエチレングリコールとして】
 ポリエチレングリコールは化粧品に使用されていて、皮膚に対する刺激性は少ないので区分に該当しないとした。
 【不活性物質として】
 データなし

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 【ポリビニルアルコールとして】
 ウサギの眼に対して刺激性は認められなかったため、区分に該当しないとした。
 【ポリエチレングリコールとして】
 眼に対する刺激性は少ないので、区分に該当しないとした。
 【不活性物質として】
 データなし

呼吸器感作性又は皮膚感作性 : 呼吸器感作性
 【3章に挙げる各成分において】
 データなし

皮膚感作性
 【ポリビニルアルコールとして】
 ポリビニルアルコールは化粧品に使用が認められているので、区分に該当しないとした。
 【ポリエチレングリコールとして】

ポリエチレングリコールは化粧品に使用されていて、皮膚感作性は区分に該当しないとした。

【不活性物質として】

データなし

生殖細胞変異原性 : 【3章に挙げる各成分において】

データなし

発がん性 : 【ポリビニルアルコールとして】

IARCではグループ3(ヒトに対して発がん性については分類できない)に分類している。

【ポリエチレングリコールとして】

データなし

【不活性物質として】

データなし

生殖毒性 : 【3章に挙げる各成分において】

データなし

特定標的臓器毒性(単回ばく露) : 【ポリビニルアルコールとして】

マウス30匹を用い、100-1500 mg/kgを経口投与し、その後10日間一般症状を観察した。投与直後はいずれも運動停止、不安状態を示したが、これは胃内への大量投与による物理的なものと考えられる。1500 mg群で1列が死亡した以外異常は認められなかったため、区分に該当しないとした

【ポリエチレングリコールとして】

ポリエチレングリコールの毒性は低く、化粧品や医薬品に使用されているので区分に該当しないとした。

【不活性物質として】

データなし

特定標的臓器毒性(反復ばく露) : 【ポリビニルアルコールとして】

100、500、1500 mg/kgを30匹のマウスに毎日投与して26週間経口投与し、飼育観察した結果、外見上の異常は見られず、さらに解剖して観察した結果、慢性毒性によるものと思われる病理組織学的変化は見られなかったため、区分に該当しないとした。

【ポリエチレングリコールとして】

ポリエチレングリコールの毒性は低く、化粧品や医薬品に使用されているので区分に該当しないとした。

【不活性物質として】

データなし

誤えん有害性 : 【3章に挙げる各成分において】

データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 : 【3章に挙げる各成分において】

(急性)

データなし

水生環境有害性 長期 : 【ポリビニルアルコールとして】

(慢性)

魚類(ヒメダカ)のLC50値が>1000 mg/L/48Hのため、区分に該当しないとした。

【ポリエチレングリコールとして】

データなし

【不活性物質として】

データなし

残留性・分解性 : 【ポリビニルアルコールとして】

微生物などによる濃縮性が無い、あるいは低いと判断されている物質である。

【ポリエチレングリコールとして】

BODが56.2%であり、微生物などによる分解性が良好と判断される物質である。

【不活性物質として】

データなし

生体蓄積性 : 【3章に挙げる各成分において】

土壤中の移動性	: データなし 【3章に挙げる各成分において】
オゾン層への有害性	: データなし 【3章に挙げる各成分において】 データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装	: 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送(ADR/RID/AND の規定に従う)

国連番号	: 非該当
品名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当

海上輸送(IMO の規定に従う)

国連番号	: 非該当
品名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当
海洋汚染物質	: 非該当
MARPOL73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質(該当・非該当)	: 該当 有害液体物質(Z類) ポリエチレングリコール

航空輸送(ICAO/IATA の規定に従う)

国連番号	: 非該当
品名	: 非該当
国連分類	: 非該当
容器等級	: 非該当

特別の安全対策	: 輸送に際しては直射日光を避け、容器の破損や漏れ等ないことを確かめ、落下、転倒、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にする。
---------	---

国内規制

陸上規制情報	: 規制対象外
海上規制情報	: 規制対象外
海洋汚染物質	: 非該当
航空規制情報	: 規制対象外

15. 適用法令

国内法令

化学物質排出把握管理	: 非該当
------------	-------

促進法(PRTR 法)	
労働安全衛生法	: 非該当
毒物及び劇物取締法	: 非該当
化学物質審査規制法	: 非該当
消防法	: 非該当
道路法	: 非該当
船舶安全法	: 非該当
港則法	: 非該当
海洋汚染防止法	: 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) ポリエチレングリコール
航空法	非該当

16. その他の情報

参考文献	: 化学品の分類および表示に関する世界調和システム (GHS) OECD テストガイドライン JIS Z 7252 : 2019 JIS Z 7253 : 2019 NITE (独立行政法人製品評価技術基盤機構) 職場のあんぜんサイト (厚生労働省) 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 TLVs and BEIs (ACGIH) 国連危険物輸送勧告 (TDG) 欧州危険物国際道路輸送協定 (ADR) 欧州危険物国際鉄道輸送規則 (RID) 危険物の内陸水路による国際輸送に関する欧州協定 (ADN) 国際海上危険物規程 (IMDG Code) 危険物の航空安全輸送に係る技術指針 (ICAO TI) IATA 危険物規則書 (IATA DGR) 危険物輸送のための緊急時応急措置指針 (ERG)
------	--

免責事項	: この安全データシートは、JIS Z 7252:2019、JIS Z 7253:2019 に準拠し、作成時における入手可能な製品情報、危険有害性情報に基づいて作成されているが、必ずしも十分ではない可能性があるため、本製品の取り扱いには十分に注意が必要である。この安全データシートの記載内容については、法令の改正及び新しい知見等に基づき改訂が必要となる場合があるため、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は情報提供であり、いかなる保証をなすものではない。この安全データシートの内容は通常の手続きを前提としたものであるため、特別な取り扱いをする場合には、専門家等の判断を踏まえて用途や条件に適した安全対策等を実施することが必要である。
------	---

卸店